

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

平成 26 年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

概況

本年度は、平成25年度に設立30周年を迎えたことを機に、次の30年に向けて学会を情報通信の内外の研究者のみならず、企業人、行政担当者にとっても魅力のある学会とするため、事業の充実と拡大を図ることを目指した。そのため、平成26年度中に財源の確保として、基本財産の一部を取り崩し、事業の実施に充当することを予定していたが、評議員会においてこの事案が採決に至らなかったため、事業計画を一部修正し、厳しい財政状況の下で工夫をこらし、事業の充実に取り組んだ。

例年、年1回春に開催していた学会大会を秋の国際コミュニケーション・フォーラムにおいても開催した。国際コミュニケーション・フォーラムは当初予定していた海外からの招聘を取りやめ、国内の研究者、有識者、行政担当で「2020年代に向けた競争・電波政策の展望」をテーマに今後の電波政策について議論を行った。

平成26年度の財政は、経費の節減努力に加え、大口の寄付金があったこと（寄付金収入：対前年度約300万円増）により、正味財産の期末残高はこれまでの減少傾向から一転、前年度より133万円増加した。平成26年度増収分については、平成27年度以降の事業の充実に充てることとする。

I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

1. 第31回情報通信学会大会と2014年度秋季情報通信学会大会

第31回情報通信学会大会を6月28日（土）、29日（日）の2日間、大阪府大阪市北区の大阪大学中之島センターで開催した。「脳科学と情報通信の融合が拓く情報通信の未来」をテーマにシンポジウムを開催、脳情報通信融合の最先端研究の取り組みを紹介した。

他、21件の情報通信に関する個人研究発表と4件のポスターセッション、4件の研究会報告が行われた。本大会は、「情報通信月間」の参加行事である。参加者は161名。

また、11月22日（土）、国際コミュニケーション・フォーラム会場において2014年度秋季情報通信学会大会を開催した。9件の個人研究発表が行われ、活発な質疑応答があった。参加者は57名。

*プログラム等詳細は別紙1-1、1-2

2. 関西センター共催セミナー

本年度は関西大会に代え、10月25日（土）、日本マーケティング学会と共同で関西学院大学梅田キャンパスにおいて「ビッグデータを活かす！」と題し、セミナーを開催した。関西学院大学理工学部の巳波弘佳教授、日経ビッグデータの市嶋洋平副編集長、グーグルブランドソリューション営業本部の大塚武氏の3名の方々に、違った切り口からビッグデータの活用を軸に発表いただいた。参加人数は27名。

*プログラム等詳細は別紙2

3. 第31回国際コミュニケーション・フォーラム

第31回国際コミュニケーション・フォーラムは、11月22日（土）、東京都千代田区のコンベンションルームAP東京丸の内において「2020年代に向けた競争・電波政策の展望」をテーマに開催した。2020年代に向けた情報通信政策の在り方を検討する総務省の「基本政策委員会」のメンバーである学

会会員の3名に鈴木茂樹情報通信国際戦略局長、大谷和子日本総合研究所法務部長を交え、我が国の情報通信政策の方向性が精力的に議論された。参加者は92名。

*プログラム等詳細は別紙3

II 研究会等、機関誌発行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

1. 研究会の開催

以下の12の研究会が活動を行い、年間計24回の研究会が開催された。

- ① 情報経済研究会（1回開催）
- ② 情報社会研究会（3回開催）
- ③ 情報文化研究会（2回開催）
- ④ マルチメディア研究会（1回開催）
- ⑤ 情報行動研究会（1回開催）
- ⑥ モバイルコミュニケーション研究会（3回開催）
- ⑦ 情報知財研究会（4回開催）
- ⑧ 情報社会システム研究会（3回開催）
- ⑨ 情報通信経済法学会研究会（1回開催）
- ⑩ 歴史・文化とデジタルメディア研究会（1回開催）
- ⑪ ビッグデータ研究会（2回開催）
- ⑫ コンテンツビジネス研究会（2回開催）

*研究会の詳細は別紙4

2. 情報通信学会誌の発行

投稿論文、論説と学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの講演録を掲載した情報通信学会誌第32巻第1号～第4号（110号～113号）を発行した。また、平成26年度より各号に寄稿論文の掲載を始めた。

発行部数は1150部、会員に送付されるほか、48団体が定期購読を行っている。

*情報通信学会誌各号の詳細は別紙5

3. 論文賞の授与

平成25年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳選な選考が行われた。その結果、平成25年度論文賞は優秀賞、佳作ともに該当なしとなった。

III 管理部門

平成26年度は、活発な学会事業活動を支えるため、10月から非常勤の職員を1名補充し、事務局体制の強化を図った。

収支においては、賛助会員企業からの大口の寄附があり、財政状況が一時的に好転したが、安定した事業活動を行うには財政基盤が脆弱となっている。

また、基本財産の一部満期による買い替えを行ったが、金利が低く今後利息収入が減ること、消費税の増税等が行われることなどを考慮し、一層の節減と増収のための対策が必要とされる。

1. 会員の増減

平成26年4月1日現在、正会員（個人）は776名、正会員(団体)3団体、学生会員3名、特別会員67名、賛助会員43団体であった。平成26年度内に正会員(個人)は30名の入会があったものの、81名の退会があり、正会員（個人）数は平成27年3月31日現在、725名となった。学生会員、特別会員を合わせた個人会員数は794名である。賛助会員は公益財団法人電気通信普及財団の入会があったものの、日本通信株式会社が退会。また、正会員（団体）の慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所の退会があった。また、賛助会員は43団体、106口となった。引き続き賛助会員及び個人会員の増強に向けて、役員を中心に会員入会の働きかけを行う。

*会員の増減状況及び会員種別構成については付属明細書に記載する。

2. 収支状況

平成26年度正味財産増減計算書の経常収益計は21,736,805円（対前年度1,111,116円減）、経常費用計は21,317,685円（対前年度3,623,497円減）。経常収益のうち受取会費は16,513,800円、事業収益は828,000円であった。経常費用においては事業費が15,932,047円、管理費が5,385,638円であった。正味財産の期末残高は1,331,172円増の90,705,427円となった。増収となったのは、個人及び企業からの一般寄附金2,776,500円、指定寄付金1,200,000円によるものである。また、設立35周年事業に1,800,000円の積立てを行った。平成26年度増収分については、平成27年度以降の事業の充実に充てることとする。

3. 評議員会及び理事会の開催

平成26年度は評議員会を2回、理事会を5回、常任理事会を5回開催した。なお、平成26年度当初予算は、基本財産の取崩しを前提に作成されたものであったが、定時評議員会において、基本財産の取崩し案は採決に至らなかったため、9月の理事会において事業計画の一部変更と補正予算を行った。

*評議員会及び理事会の詳細については別紙6

4. 委員会等の開催

事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会のほか、財政再建プロジェクトチームがそれぞれ別紙のとおり委員会及び会合を開催した。

また、委員の負担を軽くするため、委員会のメーリングリストによる検討、書面会議による議決を行った。

- ・事業企画委員会 （3回開催）
- ・研究企画委員会 （4回開催）
- ・編集委員会 （7回開催）
- ・関西センター委員会 （2回開催）
- ・財政再建プロジェクトチーム （2回開催）

*委員会等の詳細は別紙7

第 31 回情報通信学会大会

開催日程 平成 26 年 6 月 28 日（土）・29 日（日）
場 所 大阪大学 中之島センター
(大阪府大阪市北区中之島 4 - 3 - 5 3)
主 催 公益財団法人情報通信学会
協 賛 情報通信月間推進協議会
* 情報通信月間参加行事

<プログラム>

6 月 28 日（土）

副会長挨拶 中野幸紀（情報通信学会 副会長）
招聘校挨拶 馬場章夫（大阪大学 理事 副学長）
シンポジウム「脳科学と情報通信技術の融合が拓く情報通信の未来」
基調講演 柳田俊雄（情報通信研究機構／大阪大学脳情報通信融合研究センター長）
パネル・ディスカッション
パネリスト 柳田俊雄（情報通信研究機構／大阪大学脳情報通信融合研究センター長）
柏野牧夫（日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所
上席特別研究員・人間情報研究部長）
川鍋一晃（株式会社国際電気通信基礎技術研究所 主任研究員）
萩原一平（株式会社 NTT データ経営研究所 情報未来研究センター長）
コーディネータ 柏岡秀紀（情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター統括
大阪大学招聘教授）

6 月 29 日（日）

個人研究発表（一般及び大学院生の部）
研究会報告
ポスターセッション

<概要>

情報通信技術の進展による人々の生活の利便性や生産性の向上は目覚ましく、声に留まらず、文書や映像、機械や物、自然界の現象などの大量の情報やデータを電子化し、高速に通信、処理する利便性のある情報流通が、実現されています。これらにより、情報化・知価社会への移行が進んでいます。

しかしながら、データや情報量がさらに増大した場合には、その情報量に人間の情報処理が対応できるのか、データや情報を伝送・処理する ICT システムのエネルギー消費量に問題は生じないか等の課題が浮上してきます。

こうした中、人の脳に関する研究開発が世界的に進み、脳科学と他の分野の融合領域が急速に広がり、脳科学と情報科学、心理学・認知科学との融合領域の研究開発が立ち上がりつつあります。

これらの研究開発に期待されるものは「人に優しく、持続可能な地球社会の実現に貢献する技術」の実現です。例えば、人工システムより桁違いに低エネルギーで駆動する脳の仕組みを利用した情報処理や制御の開発や、脳から直接意思などを機械や情報端末へ伝達する技術の開発等です。

本シンポジウムでは、生命の複雑制御に学ぶ解決法の究明を目指す脳情報通信融合について、最先端の研究と、その応用が拓く情報通信の未来について、先端的な研究開発についての基調講演と、それに続く、第一線の研究者によるパネル討論を行いました。

<個人研究発表>

一般・大学院生の部

1. ソーシャルネットワークワーキングサイト上における若者の自己開示と感情表現に関する研究—Twitter と Facebook の内容分析及び大学生へのインタビュー調査から— 村益有那 (アビームコンサルティング(株))、竇雪 (慶應義塾大学)
2. ソーシャルメディア上のニュース接触・共有行動の実態と考察 小笠原盛浩 (関西大学)
3. コンテンツ海外展開とブランド製品露出に関する研究：アメリカ大作映画を事例に 大場吾郎 (佛教大学)
4. 自分が自分であることを証明する：韓国と日本の個人識別番号とインターネットガバナンス 李ウオンギョン (早稲田大学大学院生)、朴ドンオ (インディアナ大学大学院生)
5. 条件不利地域における情報通信基盤の維持に関する考察—ユニバーサルサービス提供のための新たな枠組みの提案— 三友仁志 (早稲田大学)
6. 電子政府評価委員会による行政手続きオンライン化の評価に対する再評価 本田正美 (東京大学)
7. コミュニティ単位での入居とICTの利用が東日本大震災における仮設住宅居住者の社会的孤立に与える影響 谷村祐実 (早稲田大学大学院生)、吉見憲二 (早稲田大学)、樋口清秀 (早稲田大学)
8. 「ケータイのディスプレイを見る行為」の国際比較：Interdependent な自己と非言語コミュニケーション 中村隆志 (新潟大学)、Adam Acar (神戸市外国語大学)、Mark Ng (Hong Kong Shue Yan University)
9. らくらくホンの成功と教訓 山田肇 (東洋大学)、遊間和子 (国際社会経済研究所)
10. オンラインショッピングサイトにおけるレコメンドの因果効果とその影響 品川健一 (総務省情報通信政策研究所)、黒田敏史 (東京経済大学)
11. ブロードバンド品質計測に関する考察 実積寿也 (九州大学)
12. クラウドコンピューティングの普及が我が国のマクロ経済に与える影響 小津敦 (総務省情報通信政策研究所)、竹村敏彦 (佐賀大学)
13. パーソナル情報をベースとしたパーソナライゼーションサービスにおける消費者選好に関する研究 高崎晴夫 (KDD I 総研)、高口鉄平 (静岡大学)、実積寿也 (九州大学)
14. 情報環境の変遷とプライバシー意識の関係に関する一考察 吉田達 (東京経済大学)
15. インターネットの利用におけるプライバシー懸念の要因に関する実証分析 高口鉄平 (静岡大学)、黒田敏史 (東京経済大学)、依田高典 (京都大学)
16. 米国 E ディスカバリーと企業の情報管理 瀧澤和子 (早稲田大学)
17. サイバー法から情報法へ 林紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学)
18. 東日本大震災を踏まえた地域コミュニティ及び企業における防災計画—ICT を活用した地区防災

計画と BCPー 西澤雅道（内閣府）、筒井智士（内閣府）

19. 自治体によるソーシャルメディア活用の課題と展望ー地域 SNS の導入状況の調査からー 谷村要（大手前大学）、石橋裕基（関西情報センター）、畑耕治郎（大手前大学）、藤田昌弘（大手前大学）
20. 地域資源の情報発信とコンテンツツーリズムー大学と近隣自治体の連携ー 藤昭浩（名古屋学院大学）、山口翔（名古屋学院大学）

<ポスターセッション>

1. 放送コンテンツの海外展開に関する現状分析ー日本と韓国の比較研究ー 数永信徳（総務省情報通信政策研究所）
2. ビッグデータを適切に解析するデータアナリスト育成の基盤としてのコンピテンシー・ディクショナリ編纂の必要性と課題 齋藤長行（青山学院大学）
3. 子どもの ICT 利活用能力の取得・向上に関する保護者の意識に関する調査研究 安藤 満佐子（総務省情報通信政策研究所）、清水康敬（東京工業大学）、小泉カー（尚美学園大学）
4. 青少年のインターネットリテラシー指標の国際指標化に向けた課題 吉田智彦（総務省情報通信政策研究所）、齋藤長行（青山学院大学）

<研究会報告>

1. モバイルコミュニケーション研究会

「モバイルARの可能性とセカンドオフライン」 報告者：富田英典（関西大学）

「モバイル・メディアの三叉路モデル（M. セール）とその有効性」 報告者：藤本憲一（武庫川女子大学）

「初等中等教育におけるスマートフォン利活用の可能性」 報告者：上松恵理子（武蔵野学院大学）

司会者：金キョンファ（神田外語大学）

2. 情報社会システム研究会

「ネット選挙運動からネット投票の実現に向けてー日米韓比較からー」 報告者：清原聖子（明治大学）、李洪千（慶應義塾大学） 討論者：前嶋和弘（上智大学）、小林哲郎（国立情報学研究所） 司会者：小林哲郎（国立情報学研究所）

3. 情報行動研究会

「ソーシャルメディアを介して異性と交流する女性の心理と特性ーMROC調査・ネット調査からー」 報告者：千葉直子（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、天野美穂子（東京大学大学院生）、堀川裕介（東京大学大学院生） 討論者：富田英典（関西大学）

司会者：橋元良明（東京大学）

4. ビッグデータ研究会

「日本の地上波放送のスマートTV／セカンドスクリーン展開の現状と課題ー放送局主導プラットフォームとソーシャル連携を中心にー」 報告者：齋藤浩史（毎日放送）、三枝孝臣（日本テレビ）、笹原達也（NHK） コメンテーター：菅谷実（慶應義塾大学）

司会者：脇浜 紀子（読売テレビ）

2014年度秋季 情報通信学会大会

開催日程 平成26年11月22日(土)
場 所 コンベンションルーム AP 東京丸の内
(東京都千代田区丸の内1-1-3)

<個人研究発表>

一般・大学院生の部

1. 我が国における通話サービスの利用形態についての考察 - LINE 等の音声通話アプリの受容性と利用動向 - 岡本剛和(内閣官房)、中村彰宏(横浜市立大学)
2. OTT 音声通話サービスをめぐる参入障壁の分析 実積寿也(九州大学)
3. 第4世代の電子書籍産業試論 鈴木秀顕(ノースアジア大学)、布川博士(岩手県立大学)
4. ネット流言の行動コストと流言への信頼・拡散との関連についての実験研究報告 小笠原盛浩(関西大学)、山口浩(駒澤大学)
5. スマートフォンによるソーシャルメディア利用が人間の意識や関係に及ぼす影響 宮田穰(相模女子大学)
6. 参議院選挙におけるTV番組・新聞・ポータルサイトによる「課題設定効果」の研究 長濱憲(東京大学大学院生)、橋元良明(東京大学)、小笠原盛浩(関西大学)、河井大介(東京大学大学院生)、菅野千尋(東京大学大学院生)
7. 地方自治体における行政運営の変容と今後の地方自治制度改革に関する研究会報告書に見る電子政府・電子自治体の今後の展開可能性 本田正美(東京大学)
8. 日本は「ネット配信」後進国から脱却するために何をすべきか? 城所岩生(国際大学グローバルコミュニケーションセンター)
9. リバタリアン・パターナリズムからみるインターネットを利用する青少年の保護政策の検討 齋藤長行(KDDI 研究所)

関西センター共催セミナー

開催日程	平成26年10月25日(土)
場 所	関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G.ハブスクエア大阪1005教室 (大阪府大阪市北区茶屋町19-19)
主 催	公益財団法人情報通信学会関西センター
共 催	日本マーケティング学会

<プログラム>

学会紹介	中野幸紀(情報通信学会副会長 関西センター委員長) 本木真次(日本マーケティング学会マーケティングサロン委)
セミナー	「ビッグデータの時代における新たなパラダイムとその限界～ビッグデータは『理論の終焉』をもたらすか?～」 巳波弘佳(関西学院大学理工学部情報科学科教授) 「ビジネス課題とデータから見る、ビッグデータ活用ー30社超の事例で知るベストプラクティス」 市嶋洋平(日経ビッグデータ副編集長) 「ビッグデータを活用したデジタル広告ソリューション」 大塚武(グーグル株式会社ブランドソリューション営業本部アナリティカルリード)

<概要>

世界で都市化が進展している。2050年までに都市居住者は63億人になり、世界人口に占める都市居住者の割合は72%になると予測されている。また、2050年には電力化率(最終エネルギー消費に占める電力消費量の割合)は現在の25%から50%になると言われている。都市に住む多数の住人の生活や企業活動を支えるにはエネルギーと情報の円滑な流通が不可欠であり、電力の効率的な利用が極めて重要である。

一方、我々はエネルギーの自給自足、地球温暖化対策、及び防災に強い都市インフラの構築等の課題にも直面している。これらの社会的ニーズに応えるシステムとして電力網(強電)と情報通信網(弱電)が緊密に連携するエネルギー流通システム(エネルギー・インターネット)の構想を紹介する。また、その実現に向けた技術融合の必要性、課題、及び展望について述べる。こうしたリアルタイム制御が要求される大規模システムの実現方法について、利便性、信頼性、及びコストについて参加者の方々と議論を行った。

第31回国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	平成26年11月22日(土)
場 所	コンベンションルーム AP 東京丸の内 (千代田区丸の内1-1-3)
主 催	公益財団法人情報通信学会
協 賛	一般社団法人電波産業会、一般財団法人電気通信端末機器審査協会
後 援	総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、株式会社東芝、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、日本通信株式会社、公益財団法人電気通信普及財団、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般財団法人マルチメディア振興センター、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟

<プログラム>

会長挨拶 三友仁志(公益財団法人情報通信学会会長)

特別講演「2020年代に向けた競争・電波政策の展望」 鈴木茂樹(総務省情報通信国際戦略局長)

ショートプレゼンテーション

「情報通信政策-イノベーションを促進し、社会の持続的成長を支えるために…」

大谷 和子(株式会社日本総合研究所法務部長)

「日本型情報通信ネットワークの将来展望」

菅谷 実(慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)

「2020年代に向けた競争政策」

辻 正次(兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授)

「今後の移動通信周波数割当てにおける方向性」

林 秀弥(名古屋大学大学院法学研究科教授)

パネル・ディスカッション

パネリスト 鈴木茂樹(総務省情報通信国際戦略局長)

大谷 和子(株式会社日本総合研究所法務部長)

菅谷 実(慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)

辻 正次(兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授)

林 秀弥(名古屋大学大学院法学研究科教授)

司 会 三友仁志(早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授/当学会会長)

<概要>

総務省では、2020年代に向けた情報通信政策の在り方を検討する「基本政策委員会」と、電波ひっ迫解消のための政策の抜本的な見直し、世界最先端のワイヤレス(モバイル)立国の実現・維持を図るべく、新しい電波利用の姿等についてより具体的に議論を行うことを目的として「電波政策ビ

ジョン懇談会」が並行して開催されている。基本政策委員会が扱う競争政策と電波政策ビジョン懇談会が扱う電波政策はそれぞれ固有の目的をもつが、さらなる情報通信の高度化に向け、相互に連携して検討を行う必要が生じている。また、2020年にはオリンピック・パラリンピック大会の東京開催が決まっており、世界中から来日する訪日客に最先端で便利かつ安心なICT環境を楽しんでもらうことが大切と考えられる。本シンポジウムでは、国民の便益の形成やイノベーションの創出、国際競争力の強化・国際貢献といった社会的使命を果たすことを念頭に、学会という中立的立場から、ICT政策のあり方や方向性について総括的検討を行った。

平成26年度研究会開催状況

- ① **情報経済研究会**（主査：内山隆 幹事：湧口清隆）1回開催
 - ・9月26日（金）13：00～17：00 NHK放送技術研究所
 - 「8K放送技術 見学会」（情報通信ワークショップ共催）
- ② **情報社会研究会**（主査：中村宏行 幹事：井村保、柴田邦臣）3回開催
 - ・11月12日（水）18：00～19：00 芝浦工業大学テクノプラザ
 - 「S3Dで巡る百年前の東京、そして日本1」発表者：中村広幸（芝浦工業大学）
 - ・11月13日（木）15：00～18：00 芝浦工業大学テクノプラザ
 - 「S3Dで巡る百年前の東京、そして日本2」発表者：中村広幸（芝浦工業大学）
 - ・11月21日（金）16：00～19：00 芝浦工業大学601教室
 - 「都市の業務機能・中枢機能としての「情報」」発表者：佐藤英人（高崎経済大学）
- ③ **情報文化研究会**（主査：中野幸紀・岡田朋之）2回開催
 - ・6月14日（土）13：00～17：00 関西大学千里山キャンパスD302教室
 - 「ポストモバイル社会の展望」 基調講演：富田英典（関西大学教授）話題提供：木暮祐一（青森公立大学准教授）、伊藤昌亮（愛知淑徳大学准教授）討論者：岡田朋之（関西大学教授）、赤松幹之氏（産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門研究部門長）司会：篠原一光（大阪大学大学院教授）（モバイルコミュニケーション研究会・モバイル学会共催）
 - ・3月13日（金）15：00～17：00 関西学院大学大阪梅田キャンパス1408教室
 - 「周波数資源のより効率的利用をめざして～電波政策ビジョンと民活事例（フランス・ブイグ社）紹介～」講演者：高橋真紀（総務省総合通信基盤局電波部電波政策課周波数調整官）、長沼キャロル（ブイグ・アジア社 シニア・マーケット・アナリスト&インターナルコンサルタント）
- ④ **マルチメディア研究会**（主査：塚本勝利・中西浩）
 - ・3月17日（火）15：00～17：00 関西学院大学大阪梅田キャンパス1406教室
 - 「新世紀エネルギー流通システムの実現技術と展望-インターネットとの類似点と相違点-」 講演者：門勇一（京都工芸繊維大学教授）
- ⑤ **情報行動研究会**（主査：橋元良明 幹事：千葉直子）1回開催
 - ・6月29日（日）15：20～16：50 大阪大学中之島センター301講義室
 - 「ソーシャルメディアを介して異性と交流する女性の心理と特性-MROC調査・ネット調査から-」発表者：千葉直子（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、天野美穂子（東京大学大学院生）、細川裕介（東京大学大学院生）討論者：富田英典（関西大学）
- ⑥ **モバイルコミュニケーション研究会**（主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之）3回開催
 - ・6月14日（土）13：00～17：00 関西大学千里山キャンパスD302教室
 - 「ポストモバイル社会の展望」 基調講演：富田英典（関西大学教授）話題提供：木暮祐一（青森公立大学准教授）、伊藤昌亮（愛知淑徳大学准教授）討論者：岡田朋之（関西大学教授）、赤松幹之氏（産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門研究部門長）司会：篠原一光（大阪大学大学院教授）（情報文化研究会・モバイル学会共催）
 - ・6月29日（日）13：20～14：50 大阪大学中之島センター301講義室

「モバイル AR の可能性とセカンドオフライン」発表者：富田英典（関西大学）「モバイル・メディアの三叉路モデル（Mセール）とその有効性」発表者：藤本憲一（武庫川女子大学）「初等中等教育におけるスマートフォン利活用の可能性」発表者：上原恵理子（武蔵野学院大学）

・3月1日（日）13：00～16：00 実践女子大学渋谷キャンパス会議室2（非公開）

書籍出版についての打合せ

「セカンドオフライン…ポストモバイル社会の意識と行動」発表者：富田英典（関西大学）「ヴィクトリア朝のインターネット交流から、ポストモバイル社会の異文化交流へ」発表者：藤本憲一（武庫川女子大学）

⑦ **情報知財研究会**（主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉）4回開催

・7月24日（木）18：30～20：30 東京大学先端科学技術研究センター知的財産・社会技術研究室丸の内分室

「パーソナルデータの利活用に関する検討会に参加して」発表者：松岡万里野（一般財団法人日本消費者協会理事長）

・10月20日（月）15：00～17：30 東京大学先端科学技術研究センター知的財産・社会技術研究室丸の内分室

「ドイツ特許法の最近の話題—日独特許法シンポジウムでわかったこと—」発表者：玉井克哉（東京大学教授）「—徐々に明確化する統一特許のあり方—」発表者：Dr. Anton Horn（HEUKING KÜHN LÜER WOJTEK）

・1月28日（水）18：30～20：30 ステーションコンファレンス東京 605A

「パーソナルデータ保護の将来像—プライバシーとビジネスの調和は果たされるのか—」講師：宍戸常寿（東京大学法学部教授）、安念 潤司（中央大学法科大学院教授）司会：玉井克哉（東京大学教授）

・3月12日（木）14：00～16：30 ステーションコンファレンス東京 605C

「「パーソナルデータとサイバーセキュリティ—個人情報保護法の改正と今後の課題—」 パネリスト：佐野究一郎（経済産業省商務情報政策局情報経済課長）、板倉陽一郎（弁護士）、玉井克哉（東京大学教授）、コメンテーター：宍戸常寿（東京大学教授）、モデレーター：玉井克哉（東京大学教授）

⑧ **情報社会システム研究会**（主査：清原聖子 幹事：李洪千・小林哲郎）3回開催

・6月29日（日）15：20～16：50 大阪大学中之島センター303 講義室

「ネット選挙運動からネット投票の実現に向けて—日米韓比較から—」発表者：清原聖子（明治大学）、李洪千（慶應義塾大学）、討論者：前嶋和弘（上智大学）、小林哲郎（国立情報学研究所）

・11月19日（水）16：30～18：00 明治大学駿河台キャンパス

「2014年米中間選挙の分析—ICTはどのように利用されたのか?—」発表者：清原聖子（明治大学）、司会：小林哲郎（国立情報学研究所）

・2月21日（土）14：00～16：30 明治大学駿河台キャンパスグローバル・フロントC4会議室

「ネット選挙の効果は神話か?：2013年参院選データと傾向スコアマッチングによる因果推論」発表者：小林哲郎（国立情報学研究所）「スマホアプリとネット選挙運動：2014年統一地方選挙

を事例に」 発表者：李洪千（慶應義塾大学）「A Comparative Study of Internet Campaigning Norms in Taiwan and Japan」 発表者：Boyu Chen（National Sun Yat-sen University, Taiwan）、清原聖子（明治大学） 討論者：前嶋和弘（上智大学）、清水憲人（情報通信総合研究所）

⑨ **情報通信経済法学研究会**（主査：林秀弥 幹事：福田雅樹） 1回開催

・12月13日（土）10：00～12：00 名古屋大学 905 会議室

「台湾における無線ブロードバンドアクセス事業者の周波数免許更新拒否事件」 発表者：巫昆霖（名古屋大学大学院）、「指定電気通信設備との接続の請求に関連する諸制度に関する一考察—分岐端末回線単位接続請求拒否差止請求事件判決を題材に—」 発表者：福田雅樹（早稲田大学）、林秀弥（名古屋大学）

⑩ **歴史・文化とデジタルメディア研究会**（主査：横井茂樹 幹事：西尾吉男） 1回開催

・10月2日（木）13：30～15：30 金城学院大学 N2-111 教室

「京のおもてなし文化」 発表者：高橋泰三（京都観光おもてなし大使・染の聚楽代表取締役）

⑪ **ビッグデータ研究会**（主査：高橋利枝 幹事：菅谷実、上原伸元） 2回開催

・6月29日（日）15：20～16：50 大阪大学中之島センター404 講義室

「日本の地上波放送のスマートTV／セカンドスクリーン展開の現状と課題—放送局主導プラットフォームとソーシャル連携を中心に—」 発表者：齋藤浩史（毎日放送）、三枝孝臣（日本テレビ）、笹原達也（NHK）、コメンテーター：菅谷実（慶應義塾大学）、司会：脇浜 紀子（読売テレビ）

・10月21日（火）16：30～18：00 慶應義塾大学三田キャンパス D2051

「米国におけるスマートテレビとスマートフォンの連携ビジネス — 映像コンテンツ流通の多様化」 発表者：津山恵子（フリージャーナリスト）、司会：菅谷実（慶應義塾大学）

⑫ **コンテンツビジネス研究会**（主査：大場吾郎 幹事：田村和人、浅利光昭） 2回開催

・2月5日（木）18：00～20：00 青山学院大学アスタジオ

「コンテンツの戦略的ブランディング」 発表者：佐藤成高（電通コンテンツ局）、問題提起者・討論者：大場吾郎（佛教大学）

・3月16日（月）18：00～20：00 青山学院大学アスタジオ

「地上民放テレビ局のビジネスモデル」 問題提起者：田村和人（フォアキャスト・コミュニケーションズ） 発表者：塚本幹夫（フジテレビジョン）

情報通信学会誌 (110号～113号)

情報通信学会誌第32巻第1号 通算第110号 (平成26年5月号)

掲載論文

- ・「オープンインターネット命令に係る控訴審判決の影響」 実積寿也
- ・「オンライン講義の公開に関する知的財産権管理」 児玉晴男

掲載論説

- ・「通信役務の利用における「法の下での平等」に関する序論的考察—米国オープンインターネット規則の概観—」 海野敦史

掲載寄稿論文

- ・「CDN (Content Delivery Network) をめぐる動きとネットワーク事業者の対応」 左高大平

情報通信学会誌第32巻第2号 通算第111号 (平成26年9月号)

特集 第31回情報通信学会大会

掲載論文

- ・「憲法上の通信の「秘密」の意義とその射程」 海野敦史
- ・「The Effects of the Use of Web 2.0 Applications and Television on Social Capital in Post-Disaster Recovery – A Case Study of the Great East Japan Earthquake」

John William CHENG, Stefan Yonggyun JEON, 大塚時雄, 三友仁志

- ・「市民活動SNSへの参加促進要因に関する研究：つくば市民活動ひろばを事例として」

海後宗男、大倉沙江

- ・「パブリシティ権侵害の準拠法」 齊藤邦史
- ・「Analysis of direct public toward stimulating broadband diffusion: A demand and supply perspective」 Mingchan CHENG

掲載論説

- ・「地区防災計画制度とICTの在り方に関する考察～東日本大震災を踏まえて～」

西澤雅道、筒井智士、金思穎

掲載寄稿論文

- ・「フランスの障害者向け電子図書サービスの概要及び日米との比較並びにモデルの考察」

菊池尚人

研究会報告 「情報社会システム研究会」

情報通信学会誌第32巻第3号 通算第112号 (平成26年12月号)

掲載論文

- ・「インターネット接続役務の利用における平等の保障と禁止される「差別」～特定のトラフィックに対する優先取扱いの「差別」への該当性～」 海野敦史

- ・「An Empirical Study on Switching Behavior in Cambodia's Mobile Telecommunication Service」 Phirak LENG

掲載寄稿論文

- ・「ポストメディア融合時代のユニバーサル・サービス」 菅谷実
共催セミナー 「ビッグデータを活かす！」

情報通信学会誌第32巻第4号 通算第113号 (平成27年3月号)

特集 第31回国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「インターネットのながら利用に関する経済分析」 近藤勝則、中村彰宏、三友仁志
- ・「OECD主要6ヶ国におけるモバイルブロードバンドの普及要因のパネルデータ分析」
篠原総兵衛、森川博之、辻正次

掲載寄稿論文

- ・「クール・ジャパン言説とテクノ・ナショナリズム」 黄盛彰

評議員会及び理事会の開催

<評議員会>

平成26年度定時（通算第12回）評議員会

日時：平成26年6月9日（月）18：00～20：40

場所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：（評議員）浅見訓男、遠藤薫、佐藤靖夫、宿南達志郎、菅谷実、辻正次、富田英典（スカイプ参加）、松井房樹、村瀬慎文、山下東子（理事）三友仁志、内山隆、根本典夫

議案：

1. 平成25年度事業報告について
2. 平成25年度決算報告について
3. 平成26年度の事業計画及び平成26年度の収支予算について
4. 基本財産の取り崩し関係議案
 - 4-1 基本財産の一部の基本財産からの除外について
 - 4-2 公益事業促進基金及び周年事業基金への繰り入れについて
 - 4-3 公益事業促進基金の取り崩しについて

報告事項：

1. 事業執行状況報告

第13回評議員会

日時：平成27年1月26日（月）18：00～19：35

場所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：（評議員）浅見訓男、遠藤薫、川崎賢一、佐藤靖夫、菅谷実、福家秀紀、松井房樹、村瀬眞文、山下東子（理事）三友仁志、内山隆、根本典夫（幹事）新保史生、高橋守和

議案：

1. 平成27年度における理事の任期満了に伴う次期理事の選任の実施要項
2. 理事選挙管理委員の指名
3. 平成27年度における監事の任期満了に伴う次期監事の選任の実施要項
4. 平成27年度における評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任の実施要項
5. 評議員候補者選考委員の指名

検討事項：

1. 学会の財政再建の検討について

<理事会>

第25回理事会

日時：平成26年5月26日（月）18：00～19：40

場所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：（理事）三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、実積寿也（スカイプ

参加)、寺崎明、梶浦敏範、神野新、河又貴洋（スカイプ参加）、木村幹夫、阪中信之、高崎晴夫、中西浩（スカイプ参加）、西岡洋子（監事）高橋守和

議 案：

1. 平成 25 年度事業報告について
2. 平成 25 年度決算報告について
3. 第 12 回評議員会の招集について
4. 基本財産の一部取崩しに関するパブリック・コメントの実施について
5. 論文賞の決定について
6. 学会ロゴの決定について
7. 平成 27 年度第 32 回学会大会の開催校について
8. 名誉会員の推薦について
9. 入会承認及び退会報告について
10. 終身会員の承認について

報告事項：

1. 職務の執行状況の報告
 - (1) 常任理事会報告
入会承認について
 - (2) 事業企画委員会報告
 - (3) 研究企画委員会報告
 - (4) 編集委員会報告
 - (5) 関西センター

第 26 回理事会

日 時：平成 26 年 6 月 29 日（日）11：30～12：25

場 所：大阪大学中之島センター9 階 交流センター

出席者：(理事) 三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、実積寿也、河又貴洋、木村幹夫、阪中信之、中西浩、西岡洋子、福富忠和、山田肇

議 案：

1. 評議員会における基本財産取崩し関係議案の継続審議に伴う措置（案）
2. 学会ロゴの決定
3. 入会承認について
4. 終身会員の承認について

第 27 回理事会

日 時：平成 26 年 9 月 18 日（木）18：00～19：28

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 3

出席者：(理事) 三友仁志、内山隆、中野幸紀（スカイプ参加）、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、寺崎明、神野新、阪中信之、中西浩（スカイプ参加）、西岡洋子、福富忠和、山田肇

議 案：

1. 平成 26 年度事業計画の修正について
2. 平成 26 年度補正予算案について
3. 学会事務局の業務執行体制の強化について
4. 論文区分の英訳名称および編集委員会関連の規則の英訳について
5. 新規研究会「コンテンツビジネス研究会」の承認について
6. 関西センター委員の交替について
7. 寄附の受入れについて
8. 正会員表彰受賞者について
9. 入会承認及び退会報告について

報告事項：

1. 職務の執行状況の報告
 - (1) 第 2 回情報通信ワークショップの開催
 - (2) 第 31 回国際コミュニケーション・フォーラムと個人研究発表の開催
 - (3) その他

第 28 回理事会

日 時：平成 26 年 12 月 8 日（月）18：00～19：02

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室 4

出席者：(理事) 三友仁志、根本典夫、浅井澄子、上原伸元（スカイプ参加）、実積寿也、神野新、
阪中信之、高崎晴夫、中西浩、西岡洋子、福富忠和（監事）高橋守和

議 案：

1. 学会財政の再建に関する検討について
2. 第 13 回（臨時）評議員会の招集について
3. 情報通信学会し機構論文取扱規則（案）について
4. 寄附の受入れについて
5. 入会承認について
6. 終身会員の承諾について

報告事項：

1. 入会承認について
2. 業務執行状況の報告
 - (1) 第 2 回情報通信ワークショップの開催
 - (2) 第 31 回国際コミュニケーション・フォーラムの開催
 - (3) 情報通信学会誌の発行

検討事項：

1. 平成 27 年度事業計画と予算案の基本的な考え方について
2. 学会誌表紙のデザイン変更について
3. 学会財政の再建に関する具体的方策について
4. 今後の理事会開催予定

第29回理事会

日 時：平成27年3月13日（金）16：00～18：00

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室4

出席者：(理事) 三友仁志、内山隆、根本典夫、上原伸元、実積寿也、寺崎明、阪中信之、高崎晴夫、
中西浩、福富忠和、山田肇 (監事) 高橋守和

議 案：

1. 平成25年度決算の収支相償計算における黒字の解消について
2. 寄附の受入れについて
3. 事務局長の特別手当の支給について
4. 平成27年度事業計画について
5. 平成27年度予算について
6. 謝金の支払いに関する規則（謝金規則）(案)について
7. 資金運用細則の承認
8. 情報通信学会誌の表紙デザインの変更と学会誌の合本について
9. 入会承認と退会報告について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
 - (1) 情報通信学会誌の発行
 - (2) 論文賞の募集について
 - (3) 2015年度春季情報通信学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの開催について
 - (4) 個人研究発表募集について
 - (5) 情報通信ワークショップの開催について
2. 内閣府立入検査 結果報告

検討事項：

1. 一般社団法人日本機械学会の関東支部2015年度講習会、第1回「ビックデータの機械工学へのインパクトを探る」の協賛依頼について

<常任理事会>

第6回常任理事会

日 時：平成26年5月15日（木）18：00～19：25

場 所：情報通信学会事務局

出席者：三友仁志、内山隆、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、寺崎明、実積寿也（スカイプ参加）、
中野幸紀（スカイプ参加）

議 案：

1. 入会承認について

検討事項：

1. 平成25年度事業報告
2. 平成25年度決算

3. 第25回理事会議案
4. パブリック・コメントの実施について
5. 平成27年度学会大会開催校について
6. 各委員会の活動状況について

第7回常任理事会

日 時：平成26年9月8日（月）18：00～19：30

場 所：電波産業会 会議室1A

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、上原伸元

報告事項：

1. 平成26年度定時（第12回）評議員会の審議について

検討事項：

1. 平成26年度事業計画の一部修正と平成26年度補正予算について

第8回常任理事会

日 時：平成26年9月8日（月）18：00～19：30

場 所：電波産業会 会議室1A

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、浅井澄子、上原伸元、寺崎明

議 案：

1. 平成26年度事業計画の修正について
2. 平成26年度補正予算案について
3. 学会事務局の業務執行体制の強化について

検討事項：

1. 基本財産の取崩し議案について
2. 学会大会および国際コミュニケーション・フォーラム事業の改編について
3. 編集委員会関連の規則の変更と英文規則について

報告事項：

1. 第2回情報通信ワークショップの開催内容と参加申込状況
2. 第31回国際コミュニケーション・フォーラム詳細と個人研究発表の応募状況等

第9回常任理事会

日 時：平成26年11月27日（木）18：30～20：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀（スカイプ参加）、根本典夫、上原伸元、寺崎明

議 案：

1. 入会承認について

検討事項：

1. 学会財政の再建に関する検討について
2. 平成27年度事業計画と予算案の基本的な考え方について

3. 理事改選および評議員改選スケジュールについて
4. 情報通信学会誌機構論文取扱規則（案）について
5. 学会誌表紙のデザイン変更について

報告事項：

1. 第2回情報通信ワークショップ開催報告
2. 第31回国際コミュニケーション・フォーラム開催報告

第10回常任理事会

日 時：平成27年3月2日（月）18：00～20：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：三友仁志、内山隆、中野幸紀、根本典夫、上原伸元、浅井澄子、寺崎明

議 案：

1. 平成25年度決算の収支相償計算における黒字の解消について
2. 資金の運用対象の認定等
3. 平成27年度事業計画について
4. 平成27年度予算について
5. 謝金の支払いに関する規則（謝金規則）（案）について
6. 情報通信学会誌の表紙デザインの変更と学会誌の合本について
7. その他
 - (1) 業務執行状況の報告の担当について
 - (2) 内閣府立入検査 結果報告

委員会等の開催

<事業企画委員会>

第 1 回事業企画委員会

日 時：平成26年5月8日（木） 18：00～19：30

場 所：青山学院大学14号館第11会議室

出席者：上原伸元、浅岡隆裕、浅利光昭、阿部圭介、梶浦敏範、阪中信之、田村和人、内山隆
議 案：

1. 学会 CI 強化
 - (1) 学会ロゴの作成
 - (2) ドメインの変更
2. 研究事業について
 - (1) 情報通信ワークショップの開催について
 - (2) 第 32 回国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 情報公開について
 - (1) 情報化ワーキンググループの設置
 - (2) 情報化促進サービスの整備
4. 会員表彰

情報化ワーキンググループ会合

日 時：平成26年5月8日（木） 19：30～20：00

場 所：青山学院大学14号館第11会議室

出席者：上原伸元、浅岡隆裕、浅利光昭、阿部圭介、田村和人、内山隆
議 案：

1. 情報通信学会公式ホームページについて
2. 試験的付加サービスについて
3. 今後検討する付加サービスについて

第 2 回事業企画委員会

日 時：平成26年11月17日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 2014 年度秋季 ICF の実施体制についての決定（司会等の決定）
2. 情報化 WG の活動状況についての報告
3. 事業企画委員会による会員表彰の可能性に関する検討
4. 2015 年度第 1 回情報通信ワークショップの実施体制に関する検討

第 3 回事業企画委員会

日 時：平成27年3月25日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 2015年度第1回情報通信ワークショップの実施体制についての決定

<研究企画委員会>

第1回研究企画委員会

日 時：平成26年4月1日（火）18：00～20：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：浅井澄子、木村幹夫、青木淳一、石井健一、小寺敦之、田中絵麻、中西浩

議 案：

1. 学会大会アーリーバード・セッションにおける表彰制度
2. アーリーバードと一般の部の選択
3. 大会での発表時間
4. 大会のセッションの設定及び司会・討論者の選定
5. 国際コミュニケーション・フォーラム時の個人研究発表募集要領

第2回研究企画委員会

日 時：平成26年5月8日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. アーリーバード・セッションの取り止めについて
2. アーリーバード優秀発表賞の中止について

第3回研究企画委員会

日 時：平成26年7月19日（土）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 国際コミュニケーション・フォーラム時の個人研究発表の募集
2. 新規研究会の申し込みについて

第4回研究企画委員会

日 時：平成27年1月17日（土）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 平成27年度事業計画と個人研究発表募集要領について

<編集委員会>

第1回編集委員会

日 時：平成26年4月11日（金）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 寄稿論文の依頼について
2. 学会誌担当委員の選任

第2回編集委員会

日 時：平成26年5月26日（金）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 論文賞候補論文の選考

第3回編集委員会

日 時：平成26年6月7日（土）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 投稿論文の担当委員の決定

第4回編集委員会

日 時：平成26年9月3日（水）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 論文区分の英訳名称
2. 投稿規定等における定義規定の修正・追加について

第5回編集委員会

日 時：平成26年11月13日（水）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 寄稿論文取扱規則案について

第6回編集委員会

日 時：平成27年1月23日（金）
場 所：メーリングリストによる書面会議
議 案：
1. 学会誌の発行に関する平成27年度事業計画について

第7回編集委員会

日 時：平成27年3月11日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 学会誌の表紙変更案について

<関西センター委員会>

第1回関西センター委員会

日 時：平成26年9月9日（火）10：30～12：00

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

出席者：中野幸紀、中西浩（スカイプ参加）、岡田朋之、小笠原盛浩、春日教測、長谷川想

議 案：

1. 今後の研究会開催予定について
2. 関西大会の扱いについて
3. 今後の課題について

第2回関西センター委員会

日 時：平成27年3月17日（火）17：20～18：00

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

出席者：中野幸紀、中西浩先生（スカイプ）、塚本勝俊、春日教測、岡田朋之

議 案：

1. 平成27年度研究会開催予定について
2. 平成27年度関西大会開催予定について

<財政再建プロジェクトチーム>

第1回財政再建プロジェクトチーム会合

日 時：平成26年11月27日（金）17：00～18：05

場 所：情報通信学会事務局

出席者：浅見訓男、菅谷実、内山隆、根本典夫、酒井由紀子、（オブザーバー）三友仁志

検討事項：学会財政の見直しと再建案

第2回財政再建プロジェクトチーム会合

日 時：平成27年1月16日（金）15：00～16：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：浅見訓男、菅谷実、内山隆、根本典夫、酒井由紀子

検討事項：学会財政の見直しと再建案

事業報告の付属明細書

1. 会員の増減

【平成26年度中の会員増減状況】

		正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計	
			団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)
平成26年4月1日 現在報告会員数		776	3	5	3	67	43	108	846	46 (113口)
年度内 増減	入会	30	0	0	0	1	1	1	31	5
	退会	△81	△1	△1	0	△2	△1	△3	△83	2
	変更	0	0	0	0	0	—	0	0	—
	増減計	△51	△1	△1	0	△1	0	△2	△52	3
平成27年3月31日 現在報告会員数		725	2	4	3	66	43	106	794	45 (110口)